



メンバー表

2024/11/17
14:00 Kick Off
AGFフィー

関東大学対抗戦Aグループ 第10節

青山学院大学 (Host)			日本体育大学 (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
梶原晃久(日本協会A)
タッチジャッジ
池田韻(関東協会)
伊東桂司(関東協会)
森田太郎(関東協会)

青山学院大学				
#	Pos.	氏名	資格学年身長/体重	出身/所属
1	PR	木村 陽太	2 175/107	鎌倉RS → 國學院大學栃木高校
2	HO	田中 太陽	3 173/94	大阪RS → 常翔学園高校
3	PR	安部 駿亮	4 177/115	大分舞鶴高校
4	LO	荒川 真斗	3 185/110	東芝府中RS → 國學院大學久我山高校
5	LO	梁取 駿太	2 186/100	ワセダクラブ・RS → 茗溪学園高校
6	FL	松ザキ(山に奇)天晴	1 173/95	春日LRC → 東福岡高校
7	FL	八尋 祥吾	3 168/85	かしいYR・宗像中学 → 東福岡高校
8	No.8	内藤 基	3 174/96	吹田RS → 東福岡高校
9	SH	小林 純岳	3 160/66	横須賀市RS → 東海大学付属相模高校
10	SO	青沼 駿昌	4 170/81	奥州RS → 仙台育英学園高校
11	WTB	山本 啓太	1 175/78	東住吉中学校 → 常翔学園高校
12	CTB	河村 凌馬	4 167/76	東海大学付属大阪仰星高校中等部 → 東海大学付属大阪仰星高校
13	CTB	榎本 拓真	4 184/88	八王子RS → 桐蔭学園高校
14	WTB	白石 颯	2 169/72	高崎RS → 桐蔭学園高校
15	FB	井上 晴生	1 182/82	玄海JRC → 東福岡高校
16	Re.	中山 健太郎	2 180/100	藤沢RS → 東福岡高校
17		松下 稜	3 170/95	桐蔭学園中学 → 桐蔭学園高校
18		相川 拓也	3 180/107	日本大学第二中学・練馬RS → 桐蔭学園高校
19		後藤 大輝	4 188/104	茅ヶ崎RS → 東海大学付属相模高校
20		角谷 銀次朗	1 180/95	洛南中学 → 京都成章高校
21		平澤 温人	3 170/70	河合第二中学 → 天理高校
22		平岡 勝凱	2 173/86	所沢RS → 昌平高校
23		川端 航聖	4 175/79	東福岡自彊館中学 → 東福岡高校

日本体育大学				
#	Pos.	氏名	資格学年身長/体重	出身/所属
1	PR	築城 峻汰	3 181/95	大分RS → 大分舞鶴高校
2	HO	萩原 一平	4 172/95	静岡ブルーレヴズRS → 中部大学春日丘高校
3	PR	吉田 伊吹	3 180/94	山形中央高校
4	LO	岸 佑融	4 190/105	玉川学園中等部 → 玉川学園高等部
5	LO	パエア・レワ	F 1 185/120	日本体育大学柏高校
6	FL	家登 正旺	2 174/88	かえてRS → 國學院大學栃木高校
7	FL	大竹 智也	4 172/83	大和RS → 桐蔭学園高校
8	No.8	岡部 義大	2 178/90	府中RS → 國學院大學栃木高校
9	SH	伏見 永城	4 166/70	かえてRS → 甲府工業高校
10	SO	五味 侑也	2 173/85	南信州RS → 岡谷工業高校
11	WTB	勝目 龍馬	4 164/71	鹿児島Jr.RFC → 佐賀工業高校
12	CTB	川越 大地	3 171/83	富島中学 → 佐賀工業高校
13	CTB	佐藤 晟	1 175/90	利府高校
14	WTB	古賀 剛志	3 185/73	プランビーYR → 佐賀工業高校
15	FB	大野 莉駒	3 169/71	横須賀RS → 桐蔭学園高校
16	Re.	新垣 敬史	4 165/95	美里工業高校
17		豊嶋 優希	2 170/83	日本体育大学柏高校
18		由地 蓮	3 181/105	OTJラグビースクール → 大阪桐蔭高校
19		當山 恭右	4 177/95	名護高校
20		高(中が目)橋 龍世	4 168/82	桐蔭学園中学 → 桐蔭学園高校
21		日高(中が目) 柊	4 168/72	鹿児島Jr.RFC → 鹿児島工業高校
22		嘉藤 匠悟	2 173/85	住道中学 → 大阪桐蔭高校
23		石田 一休	2 175/80	伏見クラブ → 京都工学院高校

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍, A:アジア, E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』